

か し こ い 子 や さ し い 子 た く ま し い 子 そ だ て ! 昭 和 の 子



258号

昭和小PTA広報部
生徒数 667名
PTA数 509名
平成23年10月13日発行
袖ヶ浦市坂戸市場 1431
電話(62)2031

PTA役員紹介



【上段右から】

◇鳥海先生◇北原さん(市P広報)◇霧生さん(事務局)◇岩間さん(事務局)◇平川さん(事務局)◇伊藤さん(事務局)◇宮本さん(市P会長)

【下段右から】

◇諸見里さん(副会長)◇徳永さん(副会長)◇若林校長先生◇武井さん(会長)◇加藤さん(副会長)◇杉本教頭先生



【右から】

◇内藤さん(環境整備部長)◇三井さん(研修部長)◇秋倉さん(校外指導部長)◇榎本さん(体育部長)◇川名さん(広報部長)

【学年委員長】

◇坂井さん(二年)◇茅木さん(二年)◇上野さん(三年)◇宮本さん(四年)◇吉岡さん(五年)◇松本さん(六年)

PTA会長より

PTAで実感することをお伝えします。

授業参観、運動会、昭和小祭等の行事で子どもた

ちの姿を見る、教職員の皆さんと接触する、それだけではもったいないです。積極的に参加することをお勧めします。顔見知りが増えて楽しい、先生方とのより深い知遇が嬉しい、それだけでもありません。

PTA活動の運営で、その一つ一つの事柄に無駄なことはなくて、有形無形に自分を研いってくれるのです。貴重な時間を掛けてでも取り組まれることは貴いことです。自分の器を大きくする上で、すすんで仕事を引き受けられることをお勧めします。自分の子どもが在籍する期間限定のことですから。

市P連会長より

市P連会長の大役を受け、多くの方で大変ですねと声を掛けていただきありがとうございます。確かに、様々な人との調整を行うので、楽なこと

はありません。単Pでの問題を出し合い、相談できることであるいろいろな解決法を発見する喜びは、各会長も同様だと思います。初めての人たちが集まり、大きな繋がりができるのが市P連だと思っています。

皆さんは、PTAと聞いてどう思います？できれば避けたいと思う方が多いでしょう。私も最初はそうでした。役員を引き受けてからは『どうせやるなら』の気持ちでやっています。自分も新しい発見ができて成長させていただきました。親子と学校を繋ぐ不思議な組織ですね。

今年度、昭和小は市P連会長校です

目次

PTA役員紹介	…1
職員紹介	…2
運動会	…3
特集：	
防災について	…4～6
PTAスポーツ	…7
専門部より 他	…8

職員紹介

今年度職員の雰囲気について、校長先生にお伺いしました。

「朝早くから出勤し、校門近くの歩道の落葉をはきながら、登校してくる子ども達にあいさつする人。ピロティー前、玄関辺りをほうきではいている職員。」



(上段右から) ベータンコート先生・高橋雅代先生・秋山奈緒世先生・矢田純子先生・小泉操先生
(下段右から) 若林勲校長先生・鳥海隆之先生・杉本宏一教頭先生



子どもの合唱指導のため、音楽室にいる人。(少し前までは、陸上練習のためのグラウンドだったが)実際にタフに動いている職員集団である。」



《3年生》
(右から) 菅野愛翔先生・根本佳子先生・山口正美先生・齊藤裕先生



《2年生》
(上段右から) 瀧口恵美子先生・大久保博史先生
(下段右から) 藤本清子先生・大木栄子先生・稲葉理恵先生



《1年生》
(上段右から) 森優紀先生・小川英子先生・曲田英世先生
(下段右から) 高橋ひとみ先生・藤田美紀先生



《6年生》
(上段右から) 眞戸原美津子先生・柳井美重子先生
(下段右から) 山田敦子先生・田中美恵子先生・南啓介先生



《5年生》
(上段右から) 里見美晴先生・川崎由佳先生・野呂静子先生
(下段右から) 安達佳寿美先生・錦織大介先生



《4年生》
(右から) 吉村尚子先生・池末由紀子先生・飯田由紀子先生・川名洋一郎先生

スクールカウンセラー・三宅方子先生

困ったことや悩み事、まずは担任の先生に相談を！
毎週火曜日、ここにこのルームでカウンセリングを行っています。



つねに全力 心をひとつに 昭和魂見せてやれ！

平成二十三年年度運動会



例年九月に行われていた運動会が、今年度は六月に実施されました。当初予定されていた十一日はあいにくの雨のため翌日に延期になりましたが、当日は晴天に恵まれ無事に開催されました。



来賓玉入れ。子どもに負けるな！



六年生・親子競技。重たくなった我が子



一年生・初めての運動会。ドキドキ…



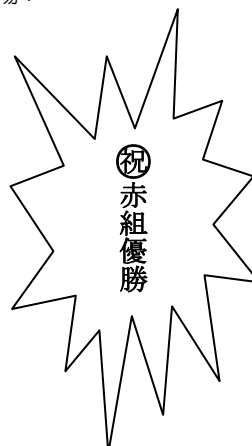
PTAリレー。今年はなんと…カツラがバトン!?



昭和の海賊登場！



マルマルモリモリ！
かわいく元気に踊れました



迫力のある昭和ソーラン！

あの時学校は…？

卒業式を一週間後に控えた三月十一日。この日は短縮日課のため、午後二時に児童たちは完全下校となっていました。

特集：防災について考える

課だったとしたら…。どんな状況になっていたのでしょうか。校内はどんな状態になっていたのでしょうか。当時、職員室にいら

そして午後二時四十六分十八秒。忘れもしないあの大きな災害が発生しました。家についてのばかりで、自宅にいた子もいれば、友達の家や公園で遊ぶなど外出していた子もいたでしょう。もしもあの時学校が短縮日課でなく、通常日

した先生方に、地震直後の学校の様子などを伺いました。

―地震の直後、何をされましたか？

―校内の見回りをしました。

―校内の破損状況は？

「外壁にヒビの入る箇所もありましたが、修理するほどのものではありませんでした。校内の備品等が落ちたりすることもまったくなく、テレビが倒れるということもありませんでした。職員のほとんどは職員室にいて、室内の何かが大きく動いたということもなく、避難場所に指定されているだけあって、校



舎がいかに揺れに強いかを実感しました。」

―もしもあの日が短縮日課ではなかったら、どんなことが想定されますか？

―通常であれば5時間目の授業が終わって、帰りの会が行われていた時間で

す。おそらくほとんどの児童が校内にいたことでしょう。揺れの大きさから言っ、パニックは避けられないとも思われますが、日頃の訓練が発揮できていることを願います。」

―あの時はあらゆる通信回線がパンク状態だったようです。保護者との連絡が取れない場合、学校ではどこまで面倒を見てくださるのでしょうか？

「緊急連絡カードに書かれている『引き取り人』の方との連絡が取れるまで学校で待機となります。なかなか取れない場合でも、連絡が取れるまで一緒に

待機します。」

―夜になっても、ですか？

先生もご自宅に帰れないですね…。

―もちろん、児童の安全が最優先です。」

津波想定避難訓練

大震災での津波の被害が甚大だったことを受け、六月二十一日、昭和小では津波を想定した避難訓練が行われました。

【午前九時三十五分。地震発生放送が入り、授業中であつた児童は先生の指示のもと、机の下に隠れる。揺れがおさまり、津波警報が発令された旨の放送が入る。児童は速やかに四階に避難するように指示される】

各教室から防災頭巾をかぶった全児童・職員が四階の音楽室・図書室・視聴覚室に避難を始めました。

移動完了に要した時間は約三分三十秒。

この日は蒸し暑く、普段は感じた事のない室内の熱気や圧迫感にも耐えつ



4階に向かって階段を上がる児童たち

つ、どの児童も実際に大きな地震を経験したばかりなだけあって、真剣な面持ちで訓練に臨んでいたようでした。

終了後、速やかに教室に戻り各クラスごとに反省会が行われ、訓練の大切さ、命の大切さなどを話し合いました。



想像をはるかに超えた状況の被災地。私たちにできることはなんだろう？

五月二十六・二十七・三十日の三日間、今年度発足した児童会のボランティア委員の児童たちが登校時間に合わせて募金活動を行いました。

手作りの募金箱と、被災地の様子の拡大写真を手

できることから
はじめよう！

ご自身の仕事の関係で被災地を訪れたPTA副会長の徳永さん。その時の様子を伺いました。

「東日本大震災で亡くなられた皆様のご冥福を祈りつつ寄稿します」

震災発生後、緊急報道番組が映し出す惨憺(さんたん)たる光景。この二日間、

実際に見た被災地



「お金の大きさより気持ちの大きさ」

に「お願いします！」大きな声がピロティーに響き渡ります。「お小遣の中から」募金するのが原則。小さな手に握りしめられた一人一人の想いが、募金箱にたくさん集まりました。

この気持ちが被災地に少しでも届きますように…。

仕事で訪れた所にも津波が到達していました。それから三か月後、再び同地を訪れる機会がありました。

途中で見かけた停まった時計の針がそれぞれ違う時刻を示しているのは津波襲来の時を刻んでいるのでしょうか。骨組みだけの建物とその向こうに見える青い空と海のコントラストが3・11の事実を物語っていました。

地元の新聞は、児童の約七割が亡くなった小学校の被害を生存者の証言を基に検証しています。津波時の緊急避難場所を指定していなかったことが被害を拡大させた要因の一つとされていますが、校庭に避難した一部の児童が「早くしないと津波が来るよ。裏山へ逃げたほうがいいんじゃない」と先生に訴える姿があったそうです。このやりとりを聞いて

親子で再確認！
避難の「おかしも」

- ① さない
- ② けない
- ③ やべらない
- ④ どらない

いた別の児童は、裏山とは違う所に避難中、襲来した津波の波しぶきを見て逆方向の裏山目指し駆け上がり、難を逃れました。

私たちの子どもたちが地震に遭遇するケースは、登校中、学校在校中など様々です。規律を守り行動しながらも、自力で命を守らなければならない局面があるかもしれません。

私は帰宅困難者になり、自宅に戻り家族の顔を見られたのは震災翌日の夜でした。親として子どもに助けの手を差し伸べることでできなくとも、今回の出来事を教訓に、自分の命は自分で守らなければならない時もあることを子どもに伝えるべきです。

「防災について」研修会

どもに伝えたいと思っております。」

七月十三日、研修部主催の研修会が市民会館で行われました。

袖ヶ浦市では、災害発生時に直ちに対処できるように、防災対策室が設けられており、対策に取り組んでいるそうです。

自然災害はいつ起こるかわかりません。わからないからこそ、常に防災意識を持つことが必要なのだと改めて学ぶことができました。

最低限そろえましょう！

- 懐中電灯（電池も）
- 携帯ラジオ
- 非常食・水
- 貴重品・現金
- 医薬品・・・など最低3日分

その他…ヘルメット、衣類、タオル、軍手、雨具、マスク、携帯電話の充電器など。

備蓄倉庫？

袖ヶ浦市内すべての避難場所(二十六カ所)には、「防災備蓄倉庫」を設置しています。

昭和小の校舎裏にも備蓄倉庫が設置されており、市役所の許可をいただいでその中身を取材させていただきました。



備蓄品の一例として、非常用食料が人口の割の三分、ペットボトル入り飲料水が人口の割の一分収納されているそうです。



倉庫内にはこのほかにも情報伝達用品としてメガホンやラジオ、救助活動・復旧活動用品として発電機やチェンソー、医療用品、紙おむつや粉ミルクなどの乳児用品、簡易トイレやかまどセット、衣料品として肌着や毛布などが備蓄されています。

これらの備蓄品はいつ災害が起きても使用できるように、市では月一回の点検を行っているそうです。

この度の大地震や過去

の災害を顧みても、ライフライン等の復旧には数日かかることもあります。国や都道府県、市町村の公助だけではどう考えても限界があり、やはり日頃からわが身を守る備えや努力や心がけが必要です。

また普段から地域の方々と交流を深めることも、災害時にお互い協力し合うために重要なことです。

みなさんも自宅で準備してある備蓄品の賞味期限などの確認をしてみてください。

《備えあれば憂いなし》

—ご存じですか？

「災害用井戸」設置場所—

- ・昭和中学校
- ・長浦小学校
- ・蔵波小学校
- ・根形小学校
- ・学校給食センター

以上5か所

親子でチャレンジ 防災〇×クイズ

防災特集を読めば(読まなくても)ほとんどわかるはず！復習の意味も込めて、ぜひ親子でチャレンジしてみてください。中には調べないとわからない難しい問題も…？

【問①】日頃から非常用食料を備えておこう。とりあえず一日分でもいいよね。

【問②】家の中にいたら地震が起きた！急いで外へ避難しよう。

【問③】机の上のおもちゃが落ちちゃう！手で押さえよう！

【問④】外出先で地震！ブルック塀や自動販売機や電柱のそばは危ないから離れよう！

【問⑤】買い物先で地震！エレベーターを使つて避難しよう！

【問⑥】海浜公園で釣りをしていたら地震！急いで帰ろう！

【問⑦】家族に電話したいのに通じない！そうだと災害伝言ダイヤルを利用しよう！

【問⑧】ところでNTTの災害用伝言ダイヤルの番号は何番だっけ…？「117」？

【問⑨】家族で避難場所を話し合っておこう。バラバラになったら大変だ。

【問⑩】地震そのものの大きさを表す単位は「震度」である。

解答は最後のページで！

PTAスポーツ

バレーボール部

五月十四日(土)、体育部員とバレー部員初顔合わせが昭和小体育館で行われました。



練習ではみなさん和我あいあいと楽しそうに爽やかな汗を流していました。「とてもたのしく練習をやらせてもらっています。」



キャプテン高橋正美さん

今年も市の大会で優勝できるように頑張りたいと思います。(キャプテン高橋さん)

七月九日(土)、市P連バレーボール大会が臨海スポーツセンターにて開催されました。第二試合の根形中との対戦では圧勝し、昭和小の強さを改めて実感しました。また、役員や保護者のみなさん、校長先生を始め多くの先生方による大応援団が会場を盛り上げました。

取材手記

市のPTAバレーボール大会の応援に駆け付けた体育部のみなさん。朝七時に集合し、準備にあたったそうです。

試合の行われた臨海スポーツセンターの体育館では、この猛暑の中、扉や窓を閉めて試合をします。外よりも暑い中での応援はとても大変でした。

しかし一人黙々と氷などの準備をしていた部長さんを始め、体育部のみなさんの声援やサポートは、昭和小PTAバレー部の強さを支える物だと取材中感じました。(Y)



ソフトボール部

六月二十六日(日)、PTAソフトボール部員と体育部員の初顔合わせと練習試合が奈良輪小グラウンドにて行われました。

十月十五日の市内大会に向けて練習を頑張っています。



お父さんだけでなく、お母さんもプレイヤーとして参加しています。

専門部より

校外指導部

朝の安全登校指導が五月十日(火)より始まりました。

デニーズ前・セイムス前・学校正門前・ガスト前・シャトレゼ前・市民会館前の計六か所で行われ、取材に伺った六月十日も各所にて「おはようございます」の元気なあいさつが飛び交っていました。

指導は、毎月十日と、夏休み明け・冬休み明け・春休み明けの五日間に実施しています。



環境整備部

天候に恵まれ爽やかな青空の広がる五月二十一日(土)には高学年の、残暑の中でも比較的過ごしやすかった八月二十七日(土)には低学年の、それぞれPTC奉仕作業が行われました。

両日とも大勢のみなさんに参加していただき、伸び放題だった雑草がすっかりきれいになりました。参加された保護者・児童のみなさん、準備にあられた役員のみなさん、そして先生方、大変お疲れ様でした。



市PTA広報情報交換会

七月三十日(土)、市民会館にて広報情報交換会が行われ、私ども広報部も参加してきました。市内各小中学校の広報委員・部の代表が集まり、経験談の講話やミーティングを行いました。

ご存じでない方も多いと思いますが、PTA広報紙コンクールというものが、昭和小広報部も例年(任意)参加しています。せっかく作るのなら良いものを作りたい、その気持ちはどの委員も一緒のようで、広報紙づくりには同じような悩みや不安がある事を知ることができ、視野が広がったような気がします。



今後の活動にぜひ生かしていきたいと思えます。

防災〇×クイズ

正解発表

【問①】×：最低でも家族全員分を三日分準備するのがベストです。飲料水もお忘れなく。

【問②】×：原則、揺れがおさまってから周りに気を付けて外に出るのが良いようです。

【問③】×：絶対にいけません！自分の命を第一優先に守りましょう！

【問④】○：倒れやすいものや、ガラスのそばは危険です。

【問⑤】×：止まって出られなくなってしまうかもしれない。落ち着いて階段を利用しましょう。

【問⑥】○：袖ヶ浦市は湾内で、今後も想定される津波は最大でも四〜五メートルと言われています。ただし、想定外のことがあることもあり得ます。油断

せず、速やかに海岸から離れましょう。川沿いも危険です。

【問⑦】○：災害時には、電話回線がパンク状態となり、つながりにくくなります。NTTの災害用伝言ダイヤルの他にも各携帯電話会社でも伝言板サービスがあるようです。利用方法など、確認しておくことをお勧めします。

【問⑧】×：「117」は時報です。正解は「171」。ちなみに天気予報は「177」です。ちよつとややこしいですね…。

【問⑨】○：避難経路についても話し合っておいた方が良いでしょう。

【問⑩】×：地震そのものの大きさを表す単位は「マグニチュード」です。

「震度」は地震のゆれの大きさを表します。ちなみに現在の震度階級は十五年程前に変わりました。

「簡単すぎてつまらない」なんて声も聞こえてきそうですが、意外と簡単で当たり前のこと(日頃の準備など)がなかなかできなかったりするものです。

いざというときのために、改めて家族で話し合ってみてはいかがでしょうか？

《参考URL》
気象庁 <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
eカレッジ <http://www.e-college.fdma.go.jp/index.html>
NTTグループ <http://www.ntt.co.jp/index.html>



あとがき

今年度は思い切って紙面をリニューアルしました。例年3回発行していたものを2回に減らしたことで、記事に新鮮味が欠けてしまうことが非常に残念でした。